

# 平成19年三重県消費者物価指数の動向

## 1 概 要

三重県…平成19年平均の三重県消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で100.8となり、前年に比べ0.5%の上昇でした。

持家の帰属家賃を除く総合指数は100.7で、前年に比べ0.4%の上昇でした。

全 国…平成19年平均の全国消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で100.3となり、前年と同水準でした。

持家の帰属家賃を除く総合指数は100.4で、前年に比べ0.1%の上昇でした。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率でみると、三重県も全国も平成10年まで上昇傾向が続き、平成16年を除き11年から17年は下落傾向にありました。平成18年に三重県、全国とも上昇に転じました。

総合指数を三重県と全国とで比べると、平成16年までは三重県のほうが低い傾向にありましたが、平成19年は、三重県は全国を上回っています。(図1、表1、統計表第1表)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

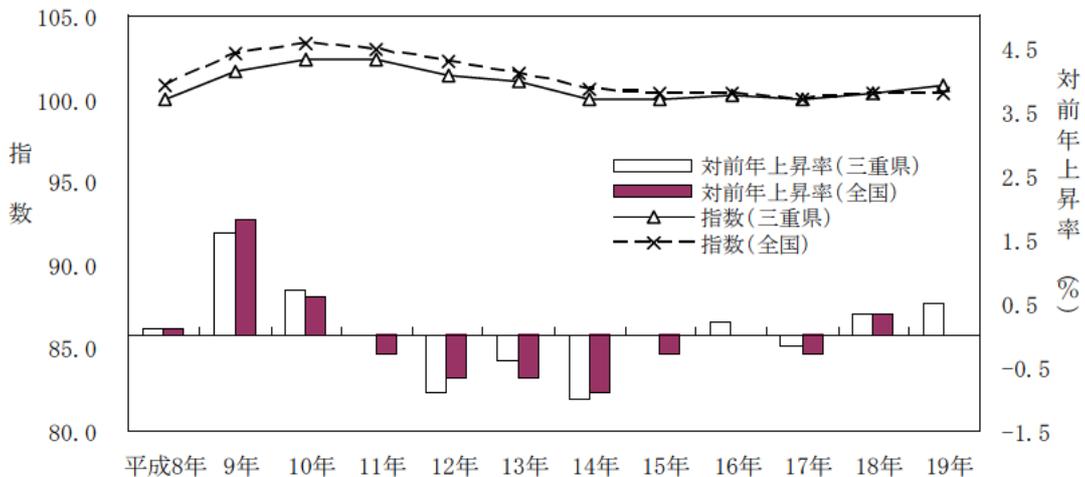


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成17年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)		総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)
平成6年	98.4	1.7	100.7	1.0	100.8	0.7	102.0	0.5	平成13年	101.0	-0.4	101.4	-0.7	101.5	-0.7	101.8	-0.9
平成7年	99.9	1.6	101.1	0.4	100.7	-0.1	101.8	-0.3	平成14年	100.0	-1.0	100.4	-1.0	100.6	-0.9	100.7	-1.1
平成8年	100.0	0.1	101.0	-0.1	100.8	0.1	101.8	0.0	平成15年	100.0	0.0	100.2	-0.2	100.3	-0.3	100.4	-0.3
平成9年	101.6	1.6	102.5	1.4	102.7	1.8	103.4	1.6	平成16年	100.2	0.2	100.2	0.0	100.3	0.0	100.4	0.0
平成10年	102.3	0.7	103.4	0.9	103.3	0.6	104.1	0.7	平成17年	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.3	100.0	-0.4
平成11年	102.3	0.0	103.1	-0.3	103.0	-0.3	103.7	-0.4	平成18年	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3
平成12年	101.4	-0.9	102.1	-0.9	102.2	-0.7	102.8	-0.9	平成19年	100.8	0.5	100.7	0.4	100.3	0.0	100.4	0.1

※ 持家の帰属家賃を除く総合

## 2 年間の動き

平成19年における月別の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみると、次のとおりでした。

1月から4月は被服及び履物、住居などが上昇し、総合指数は1月1.0%、2月0.9%、3月1.0%、4月0.9%の上昇となりました。

5月は住居、諸雑費などが上昇し、0.8%の上昇、6月は住居、被服及び履物などが上昇し、0.3%の上昇、7月は住居、教育などが上昇し、0.3%の上昇となりました。

8月は教育などが上昇、家具・家事用品などが下落し、前年同月と同水準となりました。9月は教養娯楽、被服及び履物などが下落し、0.1%の下落、10月は光熱・水道などが上昇、家具・家事用品などが下落し、前年同月と同水準となりました。

11月、12月は光熱・水道、交通・通信などが上昇し、0.5%の上昇となりました。

(図2、表2、統計表第1表)

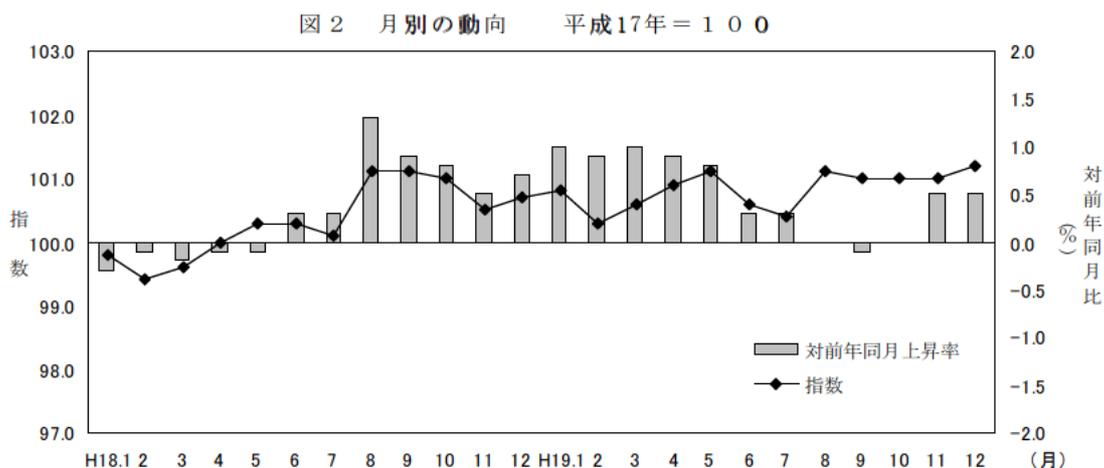


表2 対前年同月上昇率及び  
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位:%

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同月上昇率	総合	三重県	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.3	0.3	0.0	-0.1	0.0	0.5	0.5
		全国	0.0	-0.2	-0.1	0.0	0.0	-0.2	0.0	-0.2	-0.2	0.3	0.6	0.7
	持家の帰属家賃を除く総合	三重県	0.7	0.6	0.6	0.4	0.4	0.1	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.5	0.6
		全国	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.2	-0.1	-0.2	-0.2	0.2	0.6	0.9
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度(小・中分類で寄与度の大きいもの)	家賃	0.40	0.37	0.50	0.53	0.45	0.26	0.26	0.06	0.05	0.05	0.05	-0.06	
	教養娯楽用耐久財	-0.19	-0.18	-0.19	-0.16	-0.19	-0.18	-0.18	-0.16	-0.16	-0.15	-0.14	-0.14	
	自動車等関係費	0.10	0.06	-0.02	0.01	0.06	0.12	0.12	0.08	0.05	0.12	0.34	0.53	
	設備修繕・維持	0.08	0.08	0.09	0.14	0.11	0.11	0.12	0.11	0.12	0.10	0.08	0.03	

### 3 費目別指数の動き

平成19年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、住居、光熱・水道、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、諸雑費が上昇し、食料は前年と同水準で、家具・家事用品、教養娯楽が下落しました。(図3、表3)

#### (1) 食料

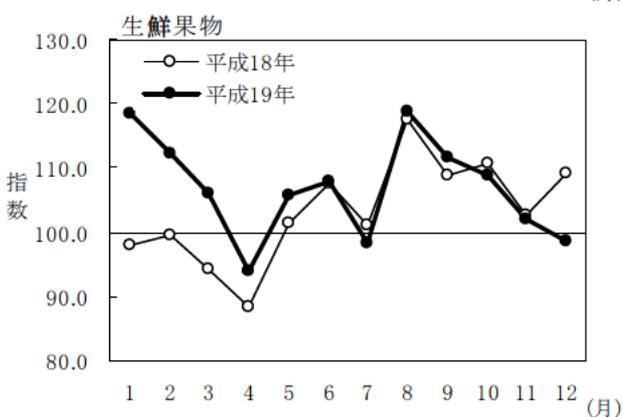
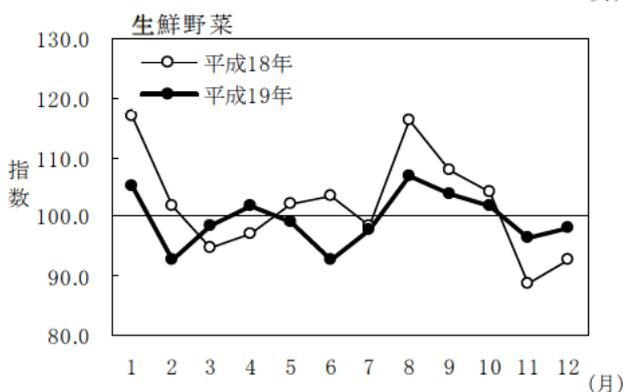
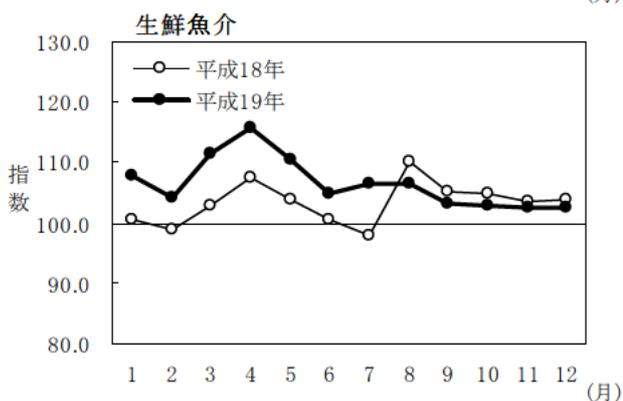
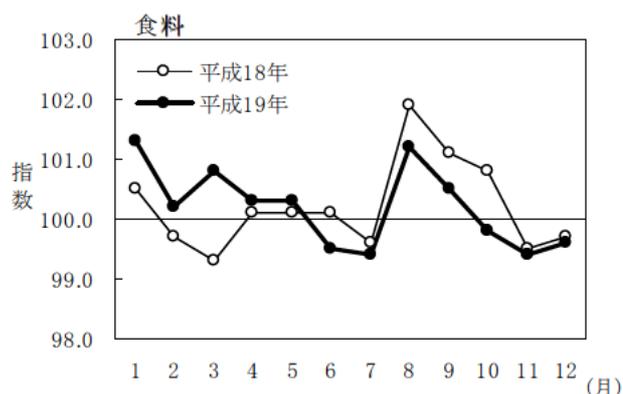
食料は 100.2 となり、前年と同水準でした。

変化の内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、果物が 3.1 %、肉類が 2.4%、魚介類が 1.9 %、乳卵類が 1.1%、外食が 0.3%でした。

一方、下落したのは、調理食品が 2.0%、野菜・海藻が 1.6%、飲料が 1.2%、穀類が 1.1%、油脂・調味料が 1.0%、酒類が 0.6%、菓子類が 0.1%でした。

生鮮食品についてみると、

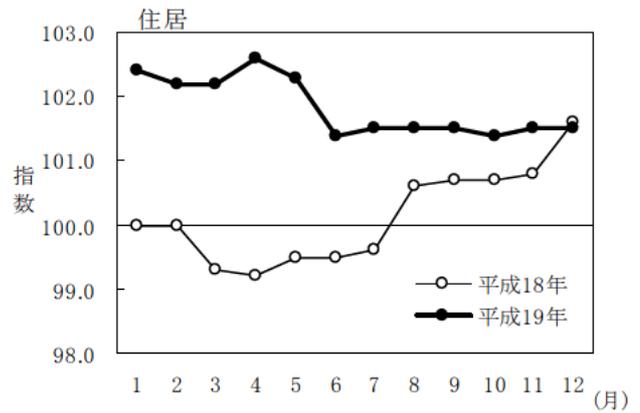
- ・生鮮魚介は、106.5 となり、対前年比は 3.1%の上昇でした。各月、平成17年の平均水準である100を上回りました。
- ・生鮮野菜は、99.6 となり、対前年比は 2.4%の下落でした。2月、3月、5月から7月、11月、12月において平成17年の平均水準である100を下回りました。
- ・生鮮果物は、106.9 となり、対前年比は 3.5%の上昇でした。1月から3月、5月、6月、8月から11月において平成17年の平均水準である100を上回りました。



## (2) 住居

住居は 101.8 となり、前年に比べ 1.7%の上昇でした。

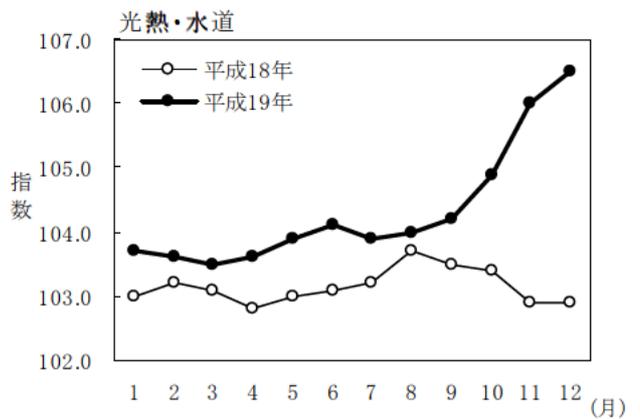
内訳をみると、設備修繕・維持が 2.6%、家賃が 1.5%の上昇でした。



## (3) 光熱・水道

光熱・水道は 104.3 となり、前年に比べ 1.1%の上昇でした。

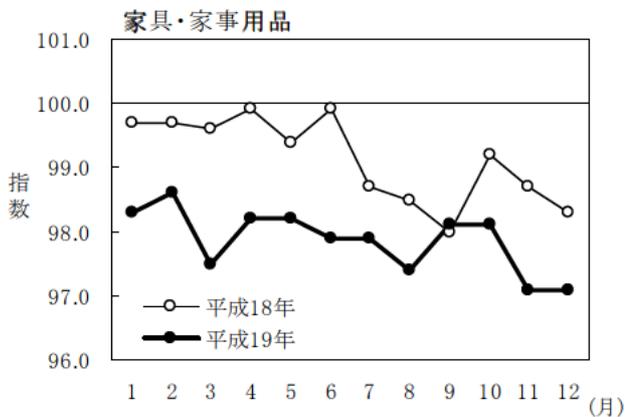
内訳をみると、ガス代が 2.4%、電気代が 1.1%の上昇、上下水道が前年と同水準、他の光熱（灯油）が 0.6%の下落でした。



## (4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 97.9 となり、前年に比べ 1.2%の下落でした。

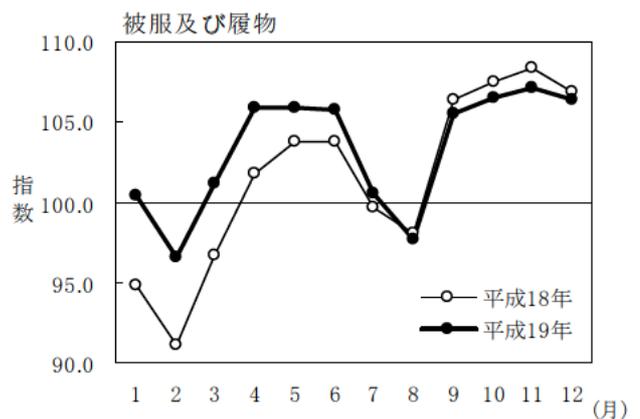
内訳をみると、家庭用耐久財が 5.4%、寝具類が 0.6%、家事サービスが 0.2%の下落、家事用消耗品が 2.3%、家事雑貨が 1.0%、室内装備品が 0.1%の上昇でした。



## (5) 被服及び履物

被服及び履物は 103.3 となり、前年に比べ 1.7%の上昇でした。

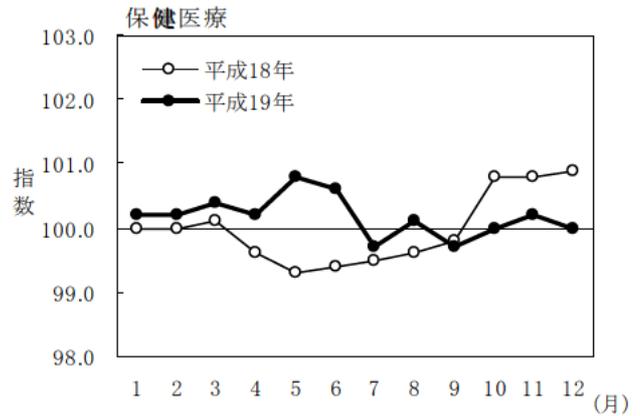
内訳をみると、シャツ・セーター・下着類が 2.3%、衣料が 2.1%、被服関連サービスが 0.4%、他の被服類が 0.3%の上昇、履物類が 0.7%の下落でした。



## (6) 保健医療

保健医療は 100.2 で、前年に比べ 0.2%の上昇でした。

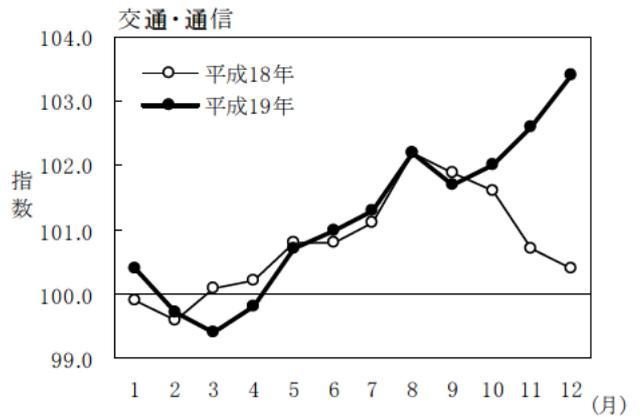
内訳をみると、保健医療サービスが 1.7%の上昇、医薬品・健康保持用摂取品が 2.2%、保健医療用品・器具が 0.5%の下落でした。



## (7) 交通・通信

交通・通信は 101.2 となり、前年に比べ 0.4%の上昇でした。

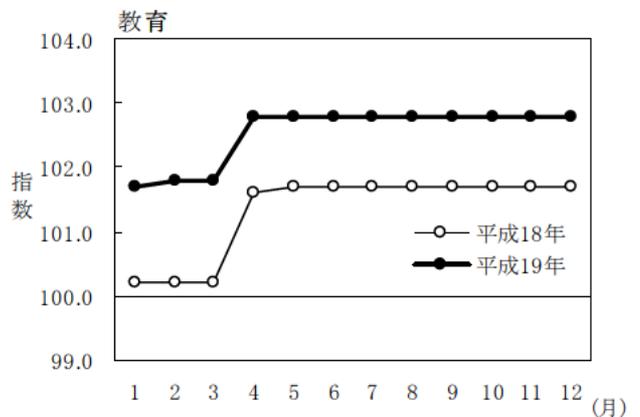
内訳をみると、自動車等関係費が 1.3%の上昇、交通が前年と同水準、通信が 2.0%の下落でした。



## (8) 教育

教育は 102.5 となり、前年に比べ 1.2%の上昇でした。

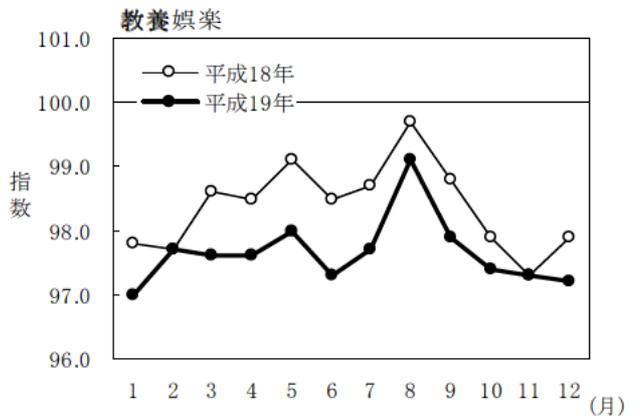
内訳をみると、補習教育が 1.9%、教科書・学習参考教材が 1.8%、授業料等が 1.0%の上昇でした。



## (9) 教養娯楽

教養娯楽は 97.7 となり、前年に比べ 0.7%の下落でした。

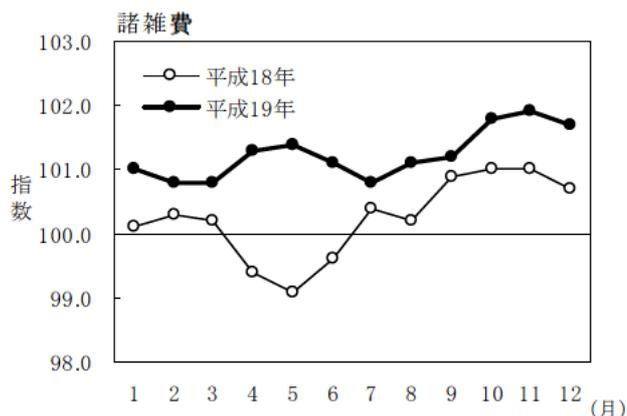
内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 19.8%の下落、教養娯楽用品が 2.2%、教養娯楽サービスが 0.6%、書籍・他の印刷物が 0.3%の上昇、でした。



#### (10) 諸雑費

諸雑費は 101.2 となり、前年に比べ 1.0%の上昇でした。

内訳をみると、たばこが 4.3%、身の回り用品が 2.0%、理美容サービスが 1.2%、他の諸雑費が 0.4%の上昇、理美容用品が 0.8%の下落でした。



#### 4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の上昇率の割合を 100分比（各費目の上昇率÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成19年三重県消費者物価指数は、総合指数で見ると前年に比べ 0.5%の上昇でした。

総合に影響を及ぼした度合（寄与度）を主な中分類別費目でみると、住居の家賃が 0.24、交通・通信の自動車等関係費が0.13と物価を押し上げる方向に働いた一方、教養娯楽の教養娯楽用耐久財が-0.17と物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 0.50（＝総合指数の上昇率が 0.5%）となりました。

(表 3、図 4)

図3 費目別対前年上昇率(%)

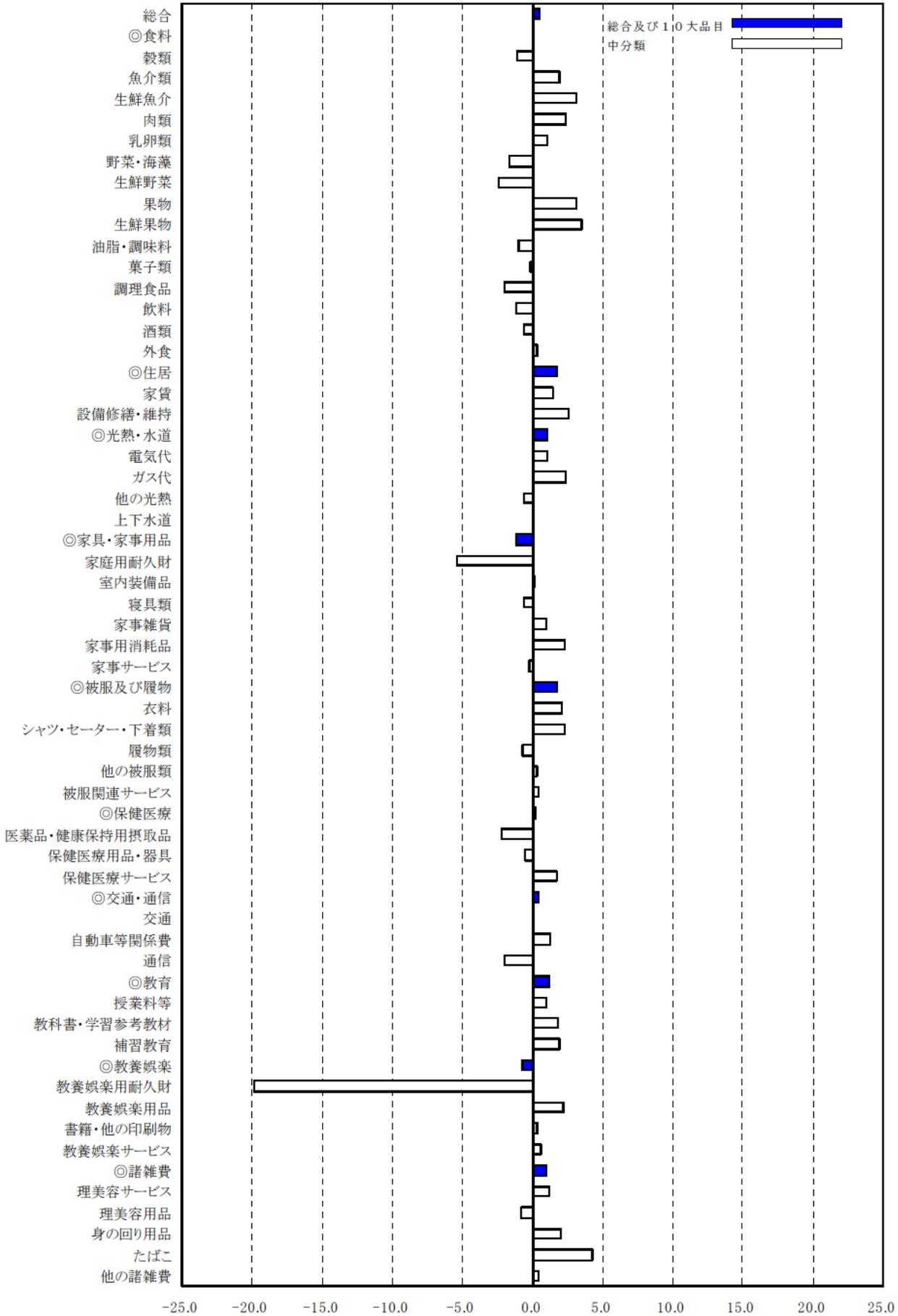


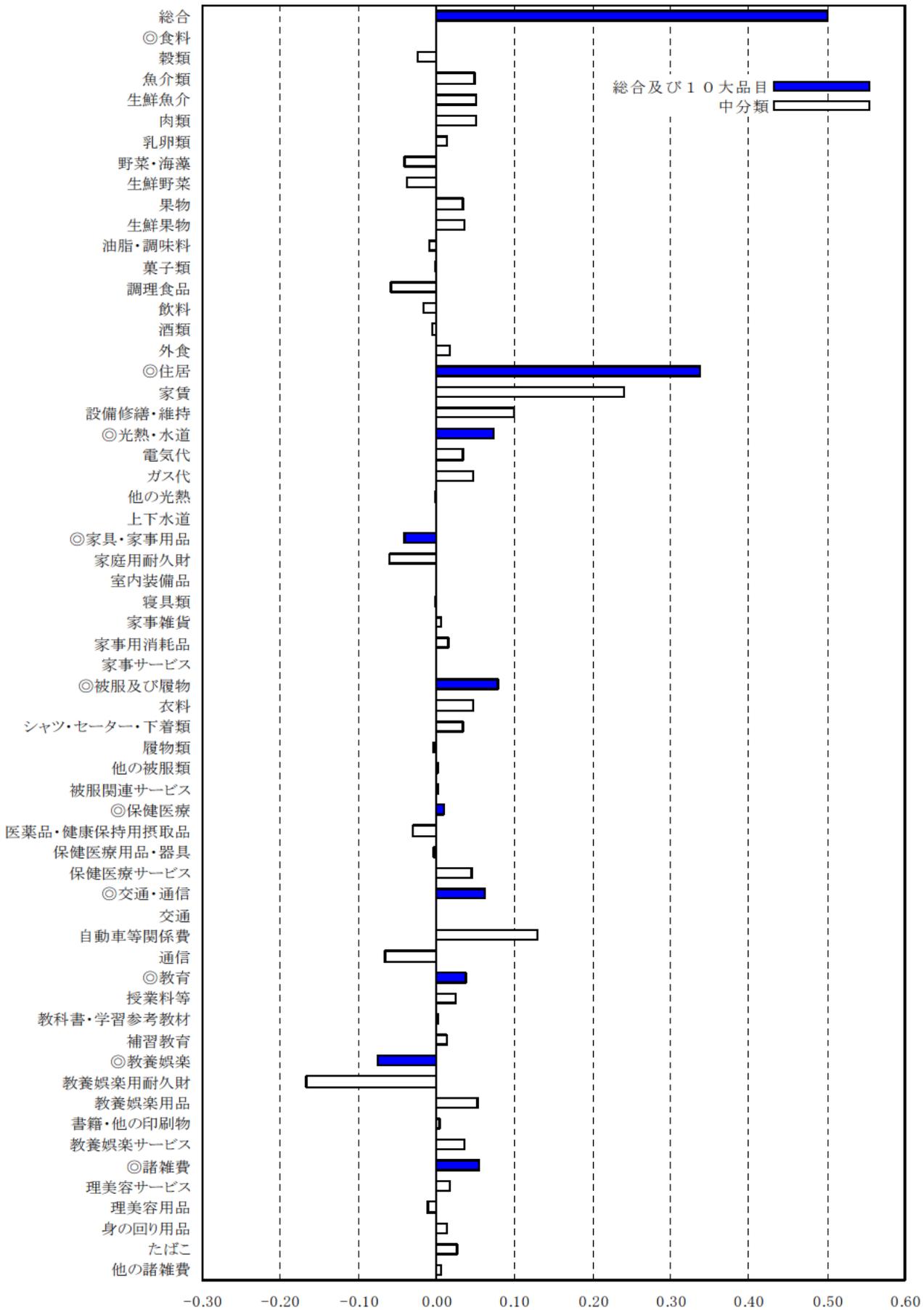
表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

指数：平成17年平均＝100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成18年 平均	平成19年 平均	平成18年 平均	平成19年 平均	平成19年 平均	平成19年 平均
総 合	100.3	100.8	0.3	0.5	0.50	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	100.3	100.7	0.3	0.4	0.34	68.1
食 料	100.2	100.2	0.2	0.0	0.00	0.0
穀 類	99.9	98.8	-0.1	-1.1	-0.02	-4.7
魚 介 類	102.1	104.0	2.1	1.9	0.05	9.6
生 鮮 魚 介 類	103.3	106.5	3.3	3.1	0.05	9.9
肉 類	99.5	101.9	-0.5	2.4	0.05	9.9
乳 卵 類	95.7	96.8	-4.3	1.1	0.01	2.4
野 菜 ・ 海 藻	101.6	100.0	1.6	-1.6	-0.04	-8.2
生 鮮 野 菜	102.1	99.6	2.1	-2.4	-0.04	-7.7
果 物	103.0	106.2	3.0	3.1	0.03	6.7
生 鮮 果 物	103.3	106.9	3.3	3.5	0.04	7.2
油 脂 ・ 調 味 料	99.1	98.1	-0.9	-1.0	-0.01	-2.0
菓 子 類	99.4	99.3	-0.6	-0.1	-0.00	-0.4
調 理 食 品	102.0	100.0	2.0	-2.0	-0.06	-11.7
飲 料	99.1	97.9	-0.9	-1.2	-0.02	-3.3
酒 類	96.7	96.1	-3.3	-0.6	-0.01	-1.3
外 食	100.1	100.4	0.1	0.3	0.02	3.2
住 居	100.1	101.8	0.1	1.7	0.34	67.4
持家の帰属家賃を除く住居	99.7	101.5	-0.3	1.8	0.09	18.9
家 賃	100.2	101.7	0.2	1.5	0.24	48.0
持家の帰属家賃を除く家賃	99.8	99.4	-0.2	-0.4	-0.01	-1.1
設 備 修 繕 ・ 維 持	99.7	102.3	-0.3	2.6	0.10	19.8
光 熱 ・ 水 道	103.2	104.3	3.2	1.1	0.07	14.7
電 気 代 理	101.3	102.4	1.3	1.1	0.03	6.7
ガ ス 代 理	105.4	107.9	5.4	2.4	0.05	9.4
他 の 光 熱	123.2	122.5	23.2	-0.6	-0.00	-0.5
上 下 水 道	98.8	98.8	-1.2	0.0	0.00	0.0
家 具 ・ 家 事 用 品	99.1	97.9	-0.9	-1.2	-0.04	-8.3
家 庭 用 耐 久 財	96.1	90.9	-3.9	-5.4	-0.06	-11.9
室 内 装 備 品	100.0	100.1	0.0	0.1	0.00	0.0
寝 具 類	101.7	101.1	1.7	-0.6	-0.00	-0.3
家 事 雑 貨	101.6	102.6	1.6	1.0	0.01	1.3
家 事 用 消 耗 品	99.9	102.2	-0.1	2.3	0.02	3.1
家 事 サ ー ビ ス	100.0	99.8	0.0	-0.2	-0.00	-0.1
被 服 及 び 履 物	101.6	103.3	1.6	1.7	0.08	15.7
衣 料	103.5	105.7	3.5	2.1	0.05	9.2
シャツ・セーター・下着類	99.7	102.0	-0.3	2.3	0.03	6.7
履 物 類	101.6	100.9	1.6	-0.7	-0.00	-0.6
他 の 被 服 類	99.5	99.8	-0.5	0.3	0.00	0.2
被 服 関 連 サ ー ビ ス	100.4	100.8	0.4	0.4	0.00	0.2
保 健 医 療	100.0	100.2	0.0	0.2	0.01	1.9
医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 撰 取 品	99.9	97.7	-0.1	-2.2	-0.03	-6.0
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	101.4	100.9	1.4	-0.5	-0.00	-0.8
保 健 医 療 サ ー ビ ス	99.7	101.4	-0.3	1.7	0.04	8.9
交 通 ・ 通 信	100.8	101.2	0.8	0.4	0.06	12.4
交 通	99.9	99.9	-0.1	0.0	0.00	0.0
自 動 車 等 関 係 費	102.5	103.8	2.5	1.3	0.13	26.0
通 信	96.3	94.4	-3.7	-2.0	-0.06	-13.0
教 育	101.3	102.5	1.3	1.2	0.04	7.5
授 業 料 等	101.8	102.8	1.8	1.0	0.02	4.7
教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	100.5	102.3	0.5	1.8	0.00	0.2
補 習 教 育	100.0	101.9	0.0	1.9	0.01	2.6
教 養 娛 楽	98.4	97.7	-1.6	-0.7	-0.08	-15.1
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	81.3	65.2	-18.7	-19.8	-0.17	-33.4
教 養 娛 楽 用 品	98.6	100.8	-1.4	2.2	0.05	10.3
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	101.4	101.7	1.4	0.3	0.00	0.9
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	100.5	101.1	0.5	0.6	0.03	7.0
諸 雑 費	100.2	101.2	0.2	1.0	0.05	10.9
理 美 容 サ ー ビ ス	100.7	101.9	0.7	1.2	0.02	3.3
理 美 容 用 品	98.5	97.7	-1.5	-0.8	-0.01	-2.1
身 の 回 り 用 品	104.4	106.5	4.4	2.0	0.01	2.6
た ば こ	104.6	109.1	4.6	4.3	0.03	5.2
他 の 諸 雑 費	98.2	98.6	-1.8	0.4	0.01	1.2

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

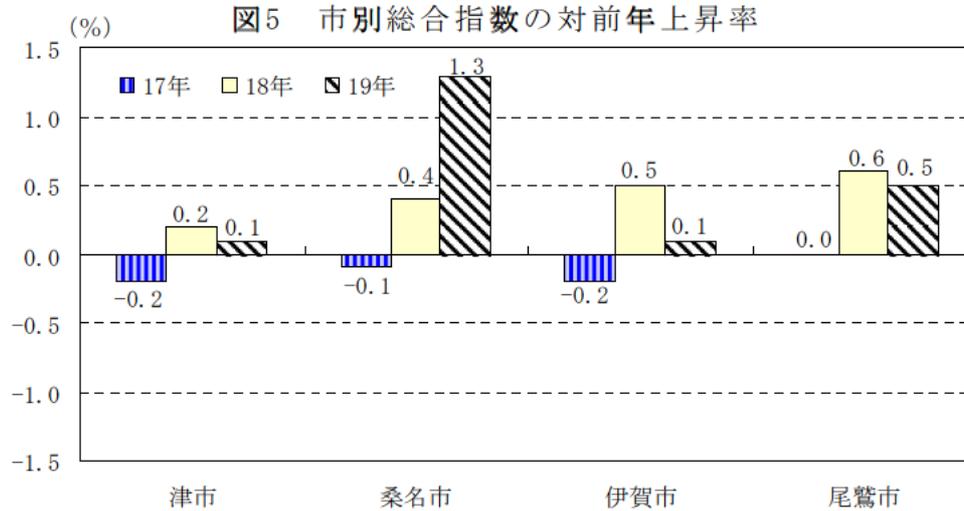
図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



## 5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市（\*）で0.1%、桑名市（\*）で1.3%、伊賀市（\*）で0.1%、尾鷲市で0.5%の上昇でした。

（図5、表4）



（内訳）

4市を通してみると、いずれの市も光熱・水道、被服及び履物、交通・通信、教育、諸雑費が上昇した一方、教養娯楽が下落しました。

市別にみると、津市（\*）では、食料が0.5%の下落、保健医療が0.1%の下落で、食料、保健医療について、4市の中で唯一の下落となっています。また、被服及び履物が2.0%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。

桑名市（\*）では、住居が5.2%の上昇、食料が0.7%の上昇で、住居、食料について、4市中最大の上昇幅となっています。

伊賀市（\*）では、保健医療が0.7%の上昇で4市中最大の上昇幅となり、家具・家事用品が2.8%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

尾鷲市では、家具・家事用品が2.2%の上昇で、4市の中で唯一上昇しています。また、光熱・水道が1.4%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。

表4 都市別10大費目別対前年上昇率

（単位：%）

	総合	除持家の 帰属家賃 を 合	食料	住居	光熱 ・ 水道	家具 ・ 家事用品	被服 及 び 履物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	0.1	0.2	-0.5	0.4	1.2	-1.9	2.0	-0.1	0.5	1.6	-0.7	1.2
桑名市	1.3	0.6	0.7	5.2	0.9	-0.2	1.9	0.3	0.3	0.8	-1.0	0.9
伊賀市	0.1	0.1	0.1	0.0	1.3	-2.8	1.0	0.7	0.3	0.7	-1.0	0.6
尾鷲市	0.5	0.5	0.0	0.2	1.4	2.2	1.2	0.0	0.4	1.6	-0.1	0.7

※（\*）については、市町村合併前の旧市地域での調査